

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+CDDP(EP)療法

3週毎 4~6 コース予定

疾患名 胚細胞腫瘍

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	2	3	4	5
エトポシド	100mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン	20mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓

【注意】 * 1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。

* シスプラチンは遮光のこと。

* エトポシドは希釈後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で希釈(濃度0.4mg/mL以下の濃度になるように)し、点滴時はDEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1Cを内服

- ① 生理食塩液 500mL 血管確保、尿量100mL/hrを確保
- ② グラニセトロン注 3mg 1筒 + デキサメタゾン注 9.9mg(3mL) + 生食 100mL

点滴静注 30分

- ③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500mL 点滴静注 120分
- ④ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120分

day 2, 3

抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(80 mg) 1Cを内服

- ① 生理食塩液 500mL 血管確保、尿量100mL/hrを確保
- ② グラニセトロン注 3mg 1筒 + デキサメタゾン注 6.6mg(2mL) + 生食 100mL

点滴静注 30分

VP-16+CDDP(EP)療法

③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500mL 点滴静注 120 分

④ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120 分

day 4,5

① 生理食塩液 500mL 血管確保、尿量 100mL/hr を確保

② グラニセトロン注 3mg 1 筒 +デキサメタゾン注 6.6mg(2mL)+生食 100mL

点滴静注 30 分

③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500mL 点滴静注 120 分

④ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120 分

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					

VP-16+CDDP(EP)療法

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					